

## DAS DIJ IN DEN MEDIEN

---

**Der Fluch von Tokio. In Japan zeigt sich, was lockere Geldpolitik anrichten kann.** Von den Maßnahmen der Notenbank profitieren vor allem Alte und Reiche.

Felix Lill, *Die Zeit* 12.01.2017, S. 26.

**Schon viel von Deutschland gelernt.** Delegation aus der südjapanischen Kleinstadt Oki besucht die Gemeinde St. Peter. Interesse an regenerativen Energien und dem Genossenschaftswesen.

Alexandra Wehrle, *Badische Zeitung*, 30.05.2017, online und print.

**日本とドイツの自治体首長らが人口動態の変化などについて議論一日自治体シンポジウム** [Diskussion japanischer und deutscher Bürgermeister zum demographischer Wandel - Japanisch-Deutsches Symposium zu Kommunen]

In: *ガバナンス [Governance]*通巻 218 号. 06.2017, 88–89.

**Ärger um Pakt mit Japan Geplantes EU-Freihandelsabkommen in der Kritik. Wieder Streit über private Schiedsgerichte.**

Felix Lill, *Südkurier* (in Kooperation mit Handelsblatt) 30.06 2017.

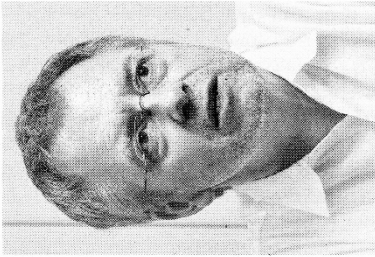
**Warum Japan auf private Richter pocht.** Das Freihandelsabkommen Jefta zwischen Japan und der EU biegt bei den Verhandlungen gerade in die Zielgerade. Streitpunkt ist nach wie vor die Form der Schiedsgerichte. Ein Thema, das zuletzt auch für öffentliche Kritik gesorgt hat.

Felix Lill, *Die Presse am Sonntag*. 02. 07.2017. S.20.

**Japan und der Gründerboom 1917. Von Mitsubishi bis Toto: Über 1000 Unternehmen in Japan werden im Jahr 2017 100 Jahre alt.** Das ist kein Zufall, sondern verrät viel über Japans Geschichte und seine wirtschaftliche Basis.

Martin Fritz, *Deutsche Welle* online, 06.08.2017.

# 休み方改革ここから始動 [Anfangen das Freizeitverhalten zu verändern] In: 日本経済新聞 [Nihon Keizai Shinbun]. 15.08.2017, S. 6.



Franz Waldenberger  
ケルン  
大博士。1992年から日本経済の  
研究会を始め、ドイツの知立委員  
会などを終り、2014年から理職。日  
東人などの各員教授も兼任。日  
独の交流活動にも取り組む。

ドイツ日本研究所所長  
フランク・ヴァルデンベルガー氏

ドイツは日本よりも  
と長休みを取り、生産性も  
高い。その理由は大きく二つ  
にわけて法定的な。  
一つは文化の違い。まっ  
たドイツは、體能と言え、仕  
事は「仕事」で、休  
みは「楽しむ時間」と考える。  
でも日本は「楽しむ時間」は  
仕事や職場の人間関係をこ  
ろ大に重んずる。ドイツは體能以  
外に合理的な職能や職能の  
人間関係を大切に重んずる。  
これは自分の體能を大切に  
する教育をしていないから  
だ。ドイツは小学校の授業  
はただただの詰め込みだ。ス  
ポーツなどは別の時間で  
習い、別の学校の上に出る  
たり大人げたり、学校と  
は別の人間関係がある。  
日本は能動的であるし、夏  
休みの習い事まで学校がす  
べ。大学に行っても学校の  
友達サークル活動。そして  
上下関係が重んずる。この  
文化は職業を通じて全

## 忠誠心競争に終止符を

社に入ると会社員がすべてに  
こころをこめて。自由時間があ  
ることもどうしたらいいかわか  
らない。根本的な問題だ。  
次に仕事の役割分担のあり  
方。ドイツは仕事に必要なら  
キルを奪った人を採用する  
「ジョブ型」雇用になっている。  
採用するときどういった  
仕事をやるか契約書にはつき  
り書いてある。休みを取ら  
ないのが当たり前。休んだ時  
には、それがその仕事をやるか  
も決めど。だから休める。  
そのために余剰のある人員配  
置になっている。日本はいつ  
も足りるだけの人員配置をして  
いる。これでは休めない。  
最後は企業での昇格の仕組  
み。日本はドイツに比べ人の  
ほとんどが内閣昇格だ。ドイ  
ツも終身雇用になっている  
が、ドイツにならざる人は  
1. 一回昇格してキャリア  
アップする。内閣昇格しか選  
択がないと会社への忠誠心  
競争になってしまう。上下関

係が重視され、サード残業  
や休日出勤が横行する。成果  
よりもこれほど重視されたか  
が重視されることになる。  
これらの問題は生産性  
に關係する。生産性とは付加  
価値を働く時間で割ったも  
の。時間を短くすれば当然上  
がる。ドイツでは時間を大切  
にして自分の役割を重んずる  
とする。日本の場合は役割分  
担があっても足りない。いろ  
んな人に相談し調整するこ  
とばかりで時間を割く。  
日本は成功してもあまり評  
価されないが、失敗したとき  
の罰が大きい。リスクをとり  
たばかり相談や調整する  
。こうした失敗の文化も委  
せられないのではない。  
ドイツでは仕事を重んずるこ  
と、失敗も含めて仕える。  
日本が休み方改革に取り組  
むのはいいが、総合的、根本  
的な問題意識が必要になる。  
その上法律で強制的に有  
休日を確保しなくては、必  
ず週間の休日を減らすことか  
ら、その一歩も歩めない。  
休日を含めて取れるよう  
になれば、差はなくなり道  
路は別のところがある。有  
休みの確保が重要になる。  
いろんな問題が起る  
と気が、そうすることで企  
業は業績のあり方や仕事の進  
め方を変えていくだろう。  
まず仕事とは何か、どう  
いふ社会をつくりたいかをほ  
るべきだと思う。そうすれば  
みんなが働き出すと思う。  
(編集部手記は福山裕子)

**Thanks to a Shopping Spree, Japan Is Looking Up. It May Not Last**  
By Thisanka Siripala, *The New York Times*, 18.08.2017.

**日本の生産性を高めるために何が必要か—ドイツからの示唆—** [Wie kann man Japans Produktivität steigern – Hinweise aus deutscher Sicht]  
In: *Keizai Doyu* October 2017, Nr, 802, S.20  
(Zusammenfassung des Vortrags von Franz Waldenberger vor der Keizai Doyu Kai am 12.09.2017)

**Japans Grauzone.** Nur in einem Industrieland ist die Bevölkerung noch älter als in Deutschland. Japans Rentner beeinflussen zunehmend Politik, Geschäftsmodelle und die Arbeitswelt.  
Felix Lill, *Capital* 12.2017. S. 92-100.